

産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成31年2月8日(金曜日)

午前10時 3分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前11時 6分 散会

付託事件

- (1) 平成29年陳情第1号, 平成30年陳情第1号
- (2) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 陳情審査

- ① 平成29年陳情第1号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情
- ② 平成30年陳情第1号 主要農作物種子法の復活等を求める陳情

(2) 報告事項

- ① 新たな市営駐車場利用券の発行について (商工課)
- ② 水戸黄門まつりのリニューアルについて (観光課)
- ③ 水戸市水道事業におけるアセットマネジメント2020について (水道総務課)

(3) その他

2 出席委員(6名)

委員長	小川勝夫君	副委員長	堀江恵子君
委員	田口文明君	委員	栗原文隆君
委員	渡辺政明君	委員	五十嵐博君

3 欠席委員(1名)

委員 内藤丈男君

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	小田木健治君	産業経済部参事	川崎幹男君
産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君	商工課長	小林一仁君
観光課長	堀江博之君	農業環境整備課長	小田博之君
農業技術センター所長	清水健司君	公設地方卸売市場長	武田和馬君

水道事業者 水管 理 者	檜 山 隆 雄 君	水道部長	伊 藤 俊 夫 君
水道部参事兼 経 理 課 長	青 木 貴 君	水道総務課長	梶 山 哲 君
料 金 課 長	島 孝 夫 君	水道整備課長	杉 山 健 一 君
給 水 課 長	梶 山 学 君	浄水管理事務 所 長	川 原 井 正 浩 君
農 業 委 員 会 事 務 局 次 長	吉 川 正 浩 君		
6 事務局職員出席者			
議 事 課 長	永 井 誠 一 君	法制調査係長	富 岡 淳 君

午前10時 3分 開議

○小川委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

議事に先立ちまして、内藤委員が所用ため、横山農業委員会事務局長が体調不良のため欠席との連絡がございましたので、御報告いたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され、継続審査となっております平成29年陳情第1号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情及び平成30年陳情第1号 主要農作物種子法の復活等を求める陳情につきましては、継続審査にいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 それでは、御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で陳情の審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

新たな市営駐車場利用券の発行について、執行部より説明を願います。

小林商工課長。

○小林商工課長 それでは、新たな市営駐車場利用券の発行につきまして、商工課提出の資料に基づき、御説明をさせていただきます。

まず、1の新たな市営駐車場利用券の概要でございます。

市営駐車場における利用者等の利便性の維持、向上と安定的な収入確保を図るため、事前に購入し利用できるこれまでのプリペイドカードに加えまして、新たに少額の市営駐車場利用券を市が発行するものでございます。

(1)の発行券種につきましては、100円券と200円券の2種類を発行してまいります。

(2)の販売価格につきましては、表示額から5%の割引を行いまして、100円券は95円、200円券は190円で、それぞれ100枚単位で販売をまいります。

(3)の販売場所につきましては、五軒町地下駐車場及びミオス1階の一般財団法人水戸市商業・駐車場公社事務所にて販売する予定でございます。

続いて、(4)の使用できる駐車場につきましては、市営駐車場における共通駐車券事業の利用実績等を踏まえまして、五軒町地下駐車場及び赤塚駅北口駐車場を利用の対象とするものでございます。

米印にて共通駐車券事業につきまして記載をさせていただいておりますが、共通駐車券事業につきましては、一般社団法人であります水戸市商店会連合会が発行する共通駐車券を商業者等が事前に購入し、商品の購入者などに配布をして、使用していただくことで、中心市街地等にありますが対象の駐車場を無料または定額で使用できるものでございます。なお、この共通駐車券事業につきましては、本年の4月30日をもって駐車場での利用を終了することとなっております。

続きまして、2の今後のスケジュールでございますが、利用券の販売及び利用開始につきましては、新年度、平成31年4月1日からを予定しております。

最後に3の周知方法でございますが、利用券の発行につきまして、「広報みと」、ホームページはもちろんでございますが、SNS等も活用しながら、市民及び事業者等へ広く周知を行いまして、利用の促進を図ってまいります。

説明につきましては以上でございます。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの内容について、何か御質問等ございましたらば発言を願います。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 2点ほど確認させていただきたいんですけども、1つは認識がなかったかわからないんですけども、今回の販売につきましては、例えば100円券で95円ということで、200円券の場合は190円ということでございますけれども、プリペイドカードというのは、それぞれ3,000円と5,000円というのは、少しプラスになっているのかちょっとわからなかったのを確認と、もう一つは、共通の駐車券が4月30日で終わってしまうということで、これを事前に購入しているわけですね。これが無料または定額でできるというわけですけども、今あるやつは使い切らなきゃいけないという考え方ですか、返還はできないということで。その2点確認します。

○小川委員長 ただいまの件について、小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えをいたします。

まず、1点目のプリペイドカードにつきましては、説明が不足していて申し訳ございません。現在、そういったプリペイドカードの販売は行っておりますが、3,000円、5,000円と2種類ございまして、3,000円が3,300円相当、5,000円が5,500円相当のものを、約1割減額させていただいて販売をいたしております。

2点目の共通駐車券の保有している券の処理についてでございますけれども、委員のおっしゃるとおり、期間までの使い切りというものを水戸市商店会連合会様のほうで周知をしております、4月30日までにお使いをいただくということでお願いをしているということでしょうかっております。

以上でございます。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 頭で計算できないんですけども、プリペイドカードは3,000円が3,300円ですかね。券のほうは100円で95円ということで、これは率的には同じなんですか。

○小川委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えをいたします。

プリペイドカードにつきましては約1割の減額でございますが、今回新たに発行する駐車場利用券につきましては5%ということで設定をさせていただいております。この辺ちょっとバランスを考慮したりという点もございまして、スタートは5%で設定をさせていただきます。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 よく考えるとプリペイドカードのほうが有利になってくるね、1割だから。それとも何か違う点であるんですか。もし違うのであればちょっと利用者が偏っちゃうのかなという気がしますので、

ちょっとその辺もう一回教えてもらっていいですか。

○小川委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えします。

プリペイドカードにつきましては1枚単位での販売ということで、率としては新たな駐車場利用券よりもお得でございます。今回新たに発行させていただきますものは100枚単位での販売ということで、主に事業所様への販売を予定しております。

以上でございます。

○小川委員長 五十嵐委員、よろしいですか。

渡辺委員。

○渡辺委員 今、市営駐車場の利用券の話をお聞かせいただいて、将来をちょっと展望したものに合わせてようとしてのこの取り組みなのかなと感じたところなんですけれども、まず1点目は、今までこの商店会連合会がやっていた共通駐車場券事業をやめると、4月30日をもってということは、何かこれ利用が少ないとかそういう原因があるんですか。まずそれをお聞かせください。

○小川委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの渡辺委員からの駐車場の共通駐車券事業の終了に関する御質問でございますけれども、委員のおっしゃるとおり、これは平成5年から開始になっている事業でございます。平成19年度を境に利用券の利用の件数が減少傾向となりまして、大型店の撤退あるいは各個店などがコインパーキングと直接駐車券等のサービスの提携をするということが頻繁に見られるということで、本共通駐車券事業につきましては、商店会連合会様としては、今年度をもって終了ということで決定したとかがっております。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ある一定の役割を果たしてきたのかなというふうに私も考えておるところでありまして、御案内のように、例えば中心市街地でいえば余ほどの民間駐車場がありますよね。それがどのように効率的に、またその駐車場を経営している方がどれぐらいの利益が上がっているのかはわかりませんが、そういう中でやはりこの役目を果たしたというようなことで、今回新たに駐車場の利用券を販売するというようなことになったと思うんです。

そこでちょっとお聞きしたいのは、今度この券は芸術館のところの五軒地下駐車場がなりますよね。この隣に今度市民会館の駐車場として5階6層の約百五、六十台の駐車場ができるわけなんだよね。そうすると、将来的な考え方としては、この市営駐車場利用券がそちらでも同じように使えるというようなことでよろしいですか。

○小川委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの渡辺委員からの対象の駐車場の拡大に関する御質問かと存じますが、委員の御発言のとおり、まずは今回五軒町地下駐車場と赤塚駅の北口駐車場での供用ということをお報告申し上げたところでございますが、新市民会館建設に合わせて、芸術館東地区の駐車場の建設も予定に入っているところでございます。これらの駐車場の状況も含めまして、将来的に対象駐車場の拡大についても十分に検討してまいりたいと考えております。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 なぜそれを聞いたかという、要は今後の車の動態ですよ、市民会館ができた結果ですね、そういうものと、また民間の周辺の駐車場。民間をあんまり圧迫しちゃってもまずいんだよね、余り値段を安くしたり。今、民間はどちらかという、看板を見ていると、例えば24時間で700円だの500円だのいろいろなみんな知恵を絞ってやっているように見受けられるんで、そういう民間との金額の整合性、そういうものもこれから配慮していかなくちゃいけないと同時に、泉町の地下駐車場は国でやっているんだよね、経営しているのは。ああいうところもやはり共通のそういう発想を持ってやっていくという必要性が私はあるんじゃないのかなというような気がしています。ですから、そういったことも金額の整合とかそういうのをこれから綿密にやっていくと同時に、商店街さん、といっても商店の数が先ほど指摘があったようにどんどん減っているんです。そういう中で、ほんの20年ぐらい前は駐車場があれば活性化するんだということでもどんどんやっていたはずなんです。それがもう全然駐車場とはかけ離れたような今の現況になっているというのも、やはり頭の隅に入れておかないといけないというふうに私は感じておりますので、この駐車場といえども、この周辺の活力とかと非常に結びつく大事な素材というふうに私は思っておりますので、とりわけ、今回水戸市が経営していく場合、その辺のところも踏まえながら取り組んでいただきたいというようなことを意見として述べておきます。

○小川委員長 ありがとうございます。

ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○小川委員長 では、ないようですので、次に水戸黄門まつりのリニューアルについて執行部より説明をお願いします。

堀江観光課長。

○堀江観光課長 それでは、水戸黄門まつりリニューアルについて、観光課提出の資料に基づき、御説明させていただきます。

水戸黄門まつりのリニューアル案につきましては、本年1月17日に開催されました水戸黄門まつり実行委員会においてリニューアルの方針が決定されたところでございます。催事等の詳細につきましては、今後関係団体等と速やかに調整してまいりたいと考えております。

それでは、資料に入らせていただきます。

1の目的でございますが、水戸黄門まつりを市外、県外からも注目される観光型のまつりへと大きく変革し、歴史と伝統を継承しながらも、市民が主役となった魅力や躍動感をより鮮やかに観光客に魅せることで、地域にさらなるにぎわいを生み出していくため、リニューアルを行うものでございます。

2のコンセプトにつきましては、大きく分けますと3つございます。

(1)観光まつりにふさわしい「魅せる」要素の強化として、市民みこしとしては日本最大のふるさと神輿、水戸ならではの水府提灯装飾、提灯行列、山車の見せ場として北関東最大級の山車のたたき合いなどを実施してまいります。また、花火大会につきましては、市外、県外からもより見に来ていただけるよう、これまでの平日開催から休日に日程を変更いたします。

(2) 市民参加及び観光客の「参加・体験」要素の拡充として、ふるさと神輿渡御や提灯行列への一般参加を行ってまいります。

(3) 観光客がわかりやすいプログラムでは、開催場所の集約化や各イベント開催時間の見直しを行ってまいります。

3の日程であります。水戸市市制施行130周年記念、第59回水戸黄門まつりの日程につきましては3日間の開催で、花火大会は7月20日土曜日19時30分から21時まで、荒天時の延期日程等については現在調整中でございます。本祭は8月3日土曜日と8月4日日曜日に開催いたします。時間は8月3日が10時から22時まで、交通規制時間が15時から22時までであります。8月4日は10時から21時まで、交通規制時間は14時から21時までになります。

4の概要につきましては、開催日のタイムスケジュール、催事の概要を申し上げます。

初めに、7月20日土曜日は花火大会を開催いたします。時間は19時30分から21時まで、会場は千波湖です。特色としては、水戸市市制施行130周年及び水戸黄門まつりのリニューアルを記念し、花火の発数をふやし、時間を拡大するとともに、例年の金曜日開催から土曜日開催に変更いたします。

次に、8月3日土曜日の催事でございます。タイムスケジュールにつきましては記載のとおりでございます。昨年との変更点は、黄門パレード、市民カーニバルの順に開催していたものを、市民カーニバルを前にし、黄門パレードにかわりエリア分けをして提灯行列や音楽祭、さらには昨年まで日曜日に開催してきた神輿連合渡御を実施してまいります。

2ページをごらんください

①（仮）水戸黄門カーニバルにつきましては、内容は従来の継続で、名称を市民カーニバルから仮称ではありますが水戸黄門カーニバルなどに変更してまいります。

②（仮）水戸黄門提灯行列です。時間は19時から21時まで、会場は水戸中央郵便局前から南町三丁目交差点間で、参加者が提灯を持って音楽に合わせて行進するほか、黄門様が山車に乗り、会場内を練り歩くというようなものを想定してございます。また、団体参加や一般参加も受け付け、市民・観光客も一緒になって、見る人も参加する人も楽しめるような内容にしたいと考えてございます。

③（仮）音楽祭と④神輿連合渡御は、時間が19時から21時30分まで、会場は南町三丁目交差点から大工町交差点間で、詳細は調整中でございます。

この音楽祭はこれまで黄門パレードの音楽隊パレードで参加いただいたマーチングや吹奏楽などを分散して配置し、定点での演技、演奏を行うことを想定してございます。

次に、8月4日日曜日の催事でございます。タイムスケジュールにつきましては記載のとおりでございます。

まず、①のふるさと神輿渡御についてでございますが、時間はお披露目式典や神輿渡御を含め14時から18時までです。会場は南町三丁目交差点から泉町一、二丁目交差点間を想定してございまして、調整中でございます。特色としては、市民みこしとしては日本最大のふるさと神輿になります。担ぎ手は交代要員を含め約500人を想定してございまして、事前予約による一般参加も可能とします。

②山車巡行につきましては、時間が14時から18時まで、会場は水戸中央郵便局前から大工町交差点間

になります。特色としては、市内外の山車がおはやしを演奏しながら大通りを巡行し、夏祭りの雰囲気を出します。各山車が一堂に会して行うたたき合いは他に類を見ない迫力があり、水戸黄門まつりのフィナーレとして観客を前に山車が一行に並ぶ大たたき合いを予定しております。

次に、3ページをごらんください。

8月3日、4日共通の催事でございます。

①(仮)サマー・ドリーム・フェスタにつきましては、時間が10時から21時まで。会場はこれまでどおり南町自由広場になります。特色としては、会場の中心に提灯やぐらを設置し、ステージイベントを開催するほか、子どもやファミリー層が楽しめるイベントを開催してまいります。また、水戸黄門提灯行列やふるさと神輿の一般参加受け付け、手荷物預かり所などを設置し、来場者向けおもてなしコンテンツを充実させてまいります。

(5)装飾につきましては、設営日から8月4日日曜日まで、国道50号上の横断提灯及び歩道上の装飾を、例年の約1.5倍の数にすることを目標とするとともに、南町自由広場において提灯やぐらを設置してまいります。

次に、5のリニューアルに伴うPRについてでございます。

(1)パンフレットリニューアルにつきましては、デザイン全体のリニューアルや表紙のフルカラーなど、来場者が分かりやすく、イメージしやすいパンフレットとしてまいります。

(2)リニューアル告知チラシの作成・配布につきましては、市内外への告知チラシを作成し、旅行会社やメディア等へ告知し、水戸黄門まつりへの期待を高めるとともに、ツアーなどの誘致を行ってまいります。

(3)サブカルチャーの活用につきましては、ゆかりのあるサブカルチャーをSNSやポスターに活用し、周知することで集客につなげてまいりたいと考えております。

説明につきましては以上でございます。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 今回のリニューアルにつきましては、本当に大きく前進をしたというふうに認識しております。実行委員会である聞いておまして、その中での質疑等も踏まえ、水戸観光コンベンション協会会長の説明も踏まえての発言でありますけれども、1つは花火大会が20日になったということは大きな前進であると思います。それも土曜日ということで、来る方にとってはやっぱり土曜日であれば来やすいですし、場合によっては宿泊もしてゆっくり見ていただける、夜のイベントなので大きな成果であるなと思います。

そこで、各地でいろいろな花火大会の催し物をしてありますが、ちょっと聞いたところで北海道の十勝で音と花火の共演というか、かなり好評なものがあるということをお聞きしております。野村さんはご存じのように内閣総理大臣賞も数多くとられて、もう日本国内はもちろんのこと本当に有名な方で、そういう野村さんが水戸にいるということは、これはもう本当に私たちにとって大事な財産でありますし、今回時間も拡大されるということで、このリニューアルまたすばらしいものにしていただきたいと思います。

一方で、8月3日、4日、これが7月27日、28日になれば完璧だったなと思うんですけども、これ

が実行委員会でもありましたように、さまざまな理由で、警察とかたたき合いの関係でできなかったということで、第一段階ということで捉えておりますけれども、どうしてもロック・イン・ジャパン・フェスティバルが今年もも3日、4日、それから10日、11日、12日とございます。どうしてもバッティングしてしまうという意味では、冒頭にありましたように、市外、県外からも注目される観光型の祭りというように大きく変革するためには、やはり来てくださいといっても泊まる場所はほぼありませんので、そういった意味では今回とりあえずこのリニューアルの形で、実行委員会の方たちが一生懸命考えられて決められたんで、本当にそのことは評価したいと思っております。

一度決めた段階で加藤会長もおっしゃっていましたが、とりあえず一度やってみた上で、またいろいろさまざまな課題点も踏まえながら、今回でリニューアルは終わっていることではないというようにおっしゃっておいりましたので、またさらにいいものにしていただければと思います。本当に水戸の梅まつりに次いで水戸の2大イベントでございますので、今回行って見た上できちんと検証していただいて、本当に宿泊の関係も含めてどうだったのかなということもいろいろさまざま行っている方も含めて意見を聞いていただいて、次につなげるような、またさらにいいものになるようなお祭りにしていただきたいということをお願いいたします。

以上です。

○小川委員長 ほかにございませんか。

田口委員。

○田口委員 この中で市民みこしというのが、日本最大のふるさと神輿とあるんですけども、これはどこがつくってあるのかな。今まではなかったわけだよね、新しくできたわけでしょ。これは誰がつくって、どこが持っているの。

それと、おみこしは例えば神様が乗っているわけなんですけども、ただ市民が持っているということではないでしょ。どこかの神社かどこかに奉納されているんですか、これは。ちょっとその点。

○小川委員長 ただいまの件について、堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの田口委員からの御質問についてお答えいたします。

まず、ふるさと神輿でございますが、こちらについては2年ほど前にふるさと神輿の製作の実行委員会を立ち上げまして、水戸神輿連合会が中心となって、市民の方もしくは事業者の方から寄附を募って製作をしているものでございます。完成については、本年度7月ごろと伺っております。また、ふるさと神輿のみたま入れでございますが、今うかがっておりますのは水戸黄門神社でみたまを入れる予定ということをおうかがっております。また、ふるさと神輿を格納する場所についてでございますが、現在具体的な場所がまだ決まっていないということですが、市内の複数の箇所を検討しているということをお伺いいたします。

以上でございます。

○小川委員長 田口委員。

○田口委員 これ大きさはどのくらいなの。日本最大と言うから、ちょっとその規模だけでも教えてください。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 お答えいたします。

ふるさと神輿の大きさでございますが、高さは約4メートルでございます。幅が約1.5メートルございまして、一番長い棒、親棒になりますと長さが8.6メートルございます。ということで、水戸神輿連合会の方からは日本最大級ということでしょうかでございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今回リニューアルして、皆さんの意見がいろいろ出された、それを集積して、それを具体化したというようなことで、私も楽しみにいたしております。今回2つあると思うんです、目玉としては。目玉というか柱が。水戸黄門まつりですから、黄門さんとゆかりのあるもの、縁のあるものがないと黄門まつりと、別に違う名前でもいいんじゃないかと言われそうなので、そういうものも2つ入っているというようなことで、私が願っているのは、やっぱりこのイベント、これは一過性のイベントというのは、あくまでもこれは手段であって、大きな目的があると思うんですよ、こういうものを取り組むのには。それで、今回そういう意味では水府提灯がこの一つの事業の中に組み込まれたということは、私は水戸の誇りとして、また水戸の地域の振興として大変これはよかったなというふうに思っております。何回か私も行ったときあるんですけども、日本三大提灯というのは九州の八女と岐阜とあるんですけども、水戸は独特の疾走的なというか、つくり方もちょっと違うんで、そういうのをPRしたりするようなコーナーなども設ける必要があるのかなと。ただ単に三大提灯ですと、じゃ何が違うんだというようなところも知っていただくなんていうのも、これはやはりいわゆる子どもたちにとっても、そういうものが水戸から発生していたんだというようなことで、非常に私はいいいことなのかなと思っております。事業の内容は年度年度でどんどん変化していくのではないのかなと期待はしておりますので、別に最初からかみしもをきちんと着たお祭りじゃなくてもいいと思います。そういうものをいかにリニューアルしながらいいお祭りにしていってほしいというようなことと、今田口委員からもあったように、日本一と日本最大とか出ているけれども、私の記憶だともっと大きいみこしあるよ。だから日本一というが一番大きいという意味だし、日本最大級とかそういうふうにしていけば、何だ全然話が違うじゃないのと言われかねないんで、その辺のところもよく調査してみてください。

それで、このみこしという部分では三社神輿、浅草なんて見てもわかるように、どちらかというのみこしを担ぐと、本来の担ぎ方と違う担ぎたいというだけ、お遊びの担ぎ手が多いというような部分もありまして、そういう部分がないように、やはり市民が参加するんだったら、急に参加しますと言ってアロハシャツなんか着て担げないし、それなりの、ばらばらじゃなくて、そういうのも配慮しながら、けがのないよう、事故のないように、一番最初にけがとか事故があると、これはもうそこで終わりになっちゃいますから、その辺のところは慎重にやっていただくということが、私はベースの中で明確にしておくべきだと思います。これは本当に一般の何も今まで担いだこともないような人が急にやってみたいななんていうようなことで簡単にできるものではないですし、またその辺の統一的なみこしの担ぎ方、先ほどみたまの話もありましたが、水戸黄門神社でみたまを入れるということは常磐神社さんのみたまが入るわけです。ですから、そういうものもしっかり一般の方にも、またみこしを担ぐ方にも知ってもらって、神社が歩いているのと一緒なんですから、みこしが歩いているというのは。それがとまったところが御飯屋とって、そこが神社になるんですから、そういうことなんですよみたまを入れるということは。だから、その辺のところをよく市民の方にも知っていただいて、神社が歩いているんですから、粗末にしたりするようなものではないと。ましてや、大

変ですよそういう上になんか乗っちゃうと、神様の頭に乗っちゃっているような話になっちゃうんで、その辺のところもよく注意しながら、楽しいみこしにさせていただきたいというようなことを要望としてお話ししておきます。

○小川委員長 ありがとうございます。

多様な要望もございました。まずけがないようにと思います。

ほかにございせんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 では、ないようですので、次に、水戸市水道事業におけるアセットマネジメント2020について執行部より説明を願います。

梶山水道総務課長。

○梶山水道総務課長 それでは、水戸市水道事業におけるアセットマネジメント2020につきまして、水道総務課の資料により御説明をいたします。

1の策定の背景につきましては、水道施設の老朽化への対応や災害対策の強化、持続可能な水道を目指した経営の健全化など、水道事業におけるさまざまな課題に対応していくため、2012年度に水戸市水道事業におけるアセットマネジメントを策定し、2013年度から2052年度までの40年間における水道施設更新事業費の把握を行い、さらに2014年度は水道料金の見直し及び水戸市水道事業基本計画（第3次）を策定し、円滑な事業展開に努めてまいりました。その後、管路情報の電子化、水道施設基礎データの精度向上を図るとともに、既存の水道施設の診断、調査等による実態把握に努めてきました。

一方で、2016年度に策定されました水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口ビジョンの公表に伴いまして、将来の水需要予測の見直しを実施した結果、今後ますます水需要の減少が顕著となる傾向が示されました。さらに、地震災害に加え、渇水や洪水、豪雨、温暖化などの自然災害も頻発しており、新たなリスクに対する危機管理対応の強化も求められております。

このような状況を踏まえまして、実態把握による最新の水道施設情報に基づき、更新基準の精度向上を図るとともに、将来の水需要減少を考慮しました施設のあり方及び危機管理対応について再検討を行い、アセットマネジメント2020として、前回アセットマネジメントの見直しを今回図るものでございます。

2の計画期間及び位置づけにつきましては、計画期間を2020年度から2059年度までの40年間とし、本年4月以降に策定を予定しております（仮称）水道事業経営戦略のほか、水道事業基本計画（第3次）に反映をしております。

資料の2ページから4ページ上段の水需要（一日最大配水量）の予測結果、ここまでににつきましては、ただいま御説明をさせていただきました策定の背景で御説明した内容につきまして、図等を用いてあらわしたものでございますので、御参照をいただきますようよろしくお願いいたします。

4ページの4のアセットマネジメント事業費算出結果につきましては、2020年度からの40年間の事業費は、前回アセットマネジメントにおける1,120億円から1,263億円となり、5の今後の取組の中で財政収支を踏まえまして事業費の平準化を図り、（仮称）水道事業経営戦略へ反映することで、将来にわたって健全で持続可能な事業経営に努めてまいります。

なお、本編につきましては、後ほどお目通しをいただきますようお願いいたします。

説明につきましては以上でございます。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの内容について、何か御質問等がございましたらば発言をお願いします。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 今、梶山課長から御説明ありましたように2012年に策定された、そして2013年から実施があったわけですが、いろいろ人口減少とかさまざまな要因によって見直しということで、これは当然のことかなと認識しております。

そこで、2013年からの最初の計画の中で、今2020年からまた始まるんですけども、2013年から2020年の7年間が経過しているわけですが、このところの事業費というのは1,920億円の中のどのぐらいを占めているのかというのをちょっと確認させていただきたいと思います。

○小川委員長 梶山水道総務課長。

○梶山水道総務課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えをいたします。

前回、アセットマネジメント40年間ということで、総額で1,120億円を見込んだところでございます。ただいまの御質問であります、7年間の事業費につきましては、前回の料金改定時に5年間ということでの事業費の算定をしております、それが89億円というような数字でございました。その7年間につきましては、事業の平準化等の算定をして、7年間における事業費の部分については算定しておりません、5年間でのみでの事業費の算定となっております。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 その残りの分と今回また新たに1,263億円で計画されるということでもありますね。

それと、後ろの2ページに施設関係の5区分、あとは管路関係の2区分が今回大きく見直しされて、26区分と4区分に、これは本編の15ページでよろしいのかと思うんですけども、より明確にされたということよろしいのでしょうか。

○小川委員長 梶山水道総務課長。

○梶山水道総務課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

前回のアセットマネジメントにおける施設の区分につきましては、本編の15ページと21ページを御参照いただければと思います。施設のほうで御説明を今回させていただけるかと思います。15ページを御参照いただければと思います。

前回の5区分、これにつきましては大分類としまして、建築、土木、電気、機械、計装というような形で大きくまとめたところでございます。今回、資産の状況の把握の中で、より細かく資産区分を細分化しまして、そういった中で耐用年数等を考慮するに当たっては、より耐用年数が細かく設定して、管理をしていくということで新たに小分類をつくってございます。その小分類を26区分に分けたということで、15ページの右側の表が今回策定をさせていただきましたマネジメントの更新区分になってございます。管路のほうにつきましても、同じような考え方で細分をしております。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 わかりました。

より詳細になるということはやっぱり大事なことだと思いますので、この計画の中できちんとアセットマネジメント期間内、またさまざまなことも今後長い期間には出てくるのかと思いますけれども、そういうことも踏まえながら取り組みをしていただければと思います。

以上でございます。

○小川委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 では、ないようですので、次に、この際執行部より特に発言を求められておりますので、これを許します。

武田公設地方卸売市場長。

○武田公設地方卸売市場長 委員会の貴重なお時間をいただき、まことにありがとうございます。

それでは、公設地方卸売市場提出の資料により、水戸市公設地方卸売市場の停電に伴う緊急対応について御説明いたします。

先月、市場内で停電が2回発生し、市場関係者の皆様方に大変ご迷惑をおかけしました。市場長としてこのような事態を招いたことについて、まことに申し訳なく、深くおわび申し上げます。

1の経過でございますが、1回目の停電につきましては、先月15日火曜日の早朝発生し、安全性を確認の上、1時間ほどで復旧したところでございます。この時点で停電の発生原因を特定することができず、発生原因の特定に当たっては、一定時間の全停電を伴う点検が必要となることから、先月20日日曜日、午前中の約3時間、本格的な点検調査を実施したところでございます。

その結果、市場内の敷地に埋設した高圧ケーブルの劣化が判明したところであり、再発防止に向けて高圧ケーブルの緊急更新工事实施の準備を開始し、具体的な工事日程等の調整を進めていたやさきに2回目の停電が発生したものでございます。2回目の停電につきましては、先月25日金曜日の午後4時過ぎから発生し、仮設の高圧ケーブルを調達の上、緊急工事を実施した結果、翌26日土曜日の午後9時に復旧したところでございます。復旧するまでの間、その都度市場関係者への連絡、情報提供を行うほか、市場内の非常用電源による電力供給と合わせて、東京電力パワーグリッド株式会社の協力を得て、移動電源車2台、投光器1台を導入し、水産棟、青果棟の業務・事務作業を支援したところでございます。

次に、2の今後の対応につきましては、既に高圧ケーブルの緊急更新工事に着手しておりますので、市場関係者の協力を得ながら、本ケーブルへの敷設がえを行い、できる限り速やかに工事完了を目指してまいります。合わせて、この緊急更新工事の中で、高圧ケーブルの故障箇所の特定制と電線管の調査を行い、再発防止に向け、発生原因の解明に努めてまいります。また、今後市場施設の再整備を行う中で、非常用電源の拡充などの対策を講じ、災害等に強い持続可能な市場づくりに努めてまいります。

説明は以上でございます。まことに申しわけございませんでした。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの内容について、何か御質問等がございましたらば発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 では、ないようですので、次に、その他に入らせていただきます。

委員より何かございましたらば、発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 1つだけちょっと確認なんですけれども、去年にもちょっとお聞かせいただいたんで、その辺のところをもう一度詳しくお聞かせ願いたいんですけれども、今二の丸周辺、弘道館周辺と街路の整備が始まっております。明治維新150年記念事業の中には弘道館東側にトイレとお休みどころというのがその街路整備とともに位置づけされておったんですけれども、何かトイレだけでお休みどころは先送りになるというようなことを去年お聞かせいただいたんで、平成31年度のその周辺の計画ついてまずお聞かせください。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの渡辺委員の御質問についてお答えいたします。

弘道館東側用地の整備につきましては、弘道館東側用地整備計画に基づき、事業を進めているところでございます。御質問のありました平成31年度の事業計画ということでございますが、今現在は実施設計を行っているところでございますが、平成31年度については整備工事を行いまして、広場と便益施設、トイレを整備してまいりたいと考えてございます。完成時期については早期完成を目指しているところでございますが、水戸城大手門の整備と合わせまして、来年度の水戸の梅まつりの前の完成を目指してまいりたいと考えております。

〔「トイレだけ」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 説明不足で申しわけございません。

便益施設の売店等のことでございますが、基本計画の中では、将来的には民間活用を視野に入れた売店等のお休みどころのことも想定してございますが、今後完成する水戸城大手門や二の丸隅やぐら、弘道館の周辺整備等による弘道館入館者数の状況等も踏まえながら、段階的に整備を進めてまいりたいと考えてございます。

以上です。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 もう一回確認するね。トイレは平成31年度に実施設計を行うということなの。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 お答えいたします。

説明不足で申しわけございません。トイレの実施設計については、平成30年度に終了する見込みでございまして、年度があけて平成31年度から直ちに整備工事を行いまして、まずは広場、駐車場を整備してまいります。トイレの便益施設につきましては、現在敷地用地の中に大手門の建設事務所とバックヤードがございまして、そちらの完成が整い次第、トイレの施設工事に入りまして、来年度水戸の梅まつりの前の完成を目指してまいります。

以上でございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 去年のうちに実施設計は終わっているんだよね。ということは、ある程度イメージ図、パースみたいなものがあるんですか。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 トイレの設計については、今現在実施設計を行っている段階でございます、今年度中には終える予定でございます。御質問のありましたパースについては、それに伴うような内容、パースについてはございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 トイレは大事な場所だよね。あの周辺にないというのは、同時にそういう景観とマッチする、いわゆるむしろトイレ自体がひとつの空間として、あの周辺をさらに盛り上げる空間の一つとして、デザインとかまた形態、そういうものを考えていただいているかと思うんで、今度機会があったらぜひそういうものを見させていただかないと。ということが、もう今年の9月末には水戸城大手門が完成しますよね。要はもう周りの囲いもだんだんとれてくると、結構今でも来ているのよ。この間もちょっと行ったら、結構お年を召した方が来ているよ。そうすると足を伸ばすところがないと。休むところだよ、いわゆるね。そういうものはどうなっているんですかという話を聞いたので、もう一回改めて聞こうと思って今質問したんですけども、お休みどころが民間活用なんて一つの言葉で先送りされたんでは困るんだよ。周りができているのに、それに対するホスピタリティがひとつの言いわけとして民間活用と。前から民間活用と、どこまで進んだの民間活用の、民間との話し合いは。まだ話していないんでしょ、民間活用と言っているだけの話でしょ。それは先送りするための言いわけとしか聞こえないよ。今あれだけどんどん工事が進んでいて周りができているのに、そういうものに対して、来た方へのホスピタリティとか、例えば足を伸ばせるようなところとかというものは、私はトイレと同じぐらいの大事な素材だと思うよ、あの辺の受け皿としての。せっかく大型バスも入ります、あれも入りますよと言っているのに休むところがない。あの辺を歩いている方の荷物を置いて、ひと休みしたいなとそういうものを皆さんは積極的に考えるのが俺はお役目じゃないのかなと思うんだけど。あの辺の整備ができ上がってから考えますなんていうのでは遅いよ。今のうちからやっぱりそういうものに対してイメージをしていかないと、あの周辺全体をイメージしてください。これから魅力の一つとして発信していくんでしょ。水戸市のまちづくりの柱が歴史観光都市なのか、それを明確に打ち出す今大事な部分になっているはずですよ。何のために水戸黄門まつりをやっているの。観光、観光とここに書いてあるけれども、そういうものはやっぱりきちんとした柱をつくってあるんだったら、歴史観光都市としてやはりそれだけの受け皿をするというのは、一番最初の計画の中に入れ込むべきですよ、と私は思うんだけど、その辺のところは課長はどうなの。その民間のほうの話を聞かせてよ。

○小川委員長 ただいまの渡辺委員の質問について、堀江観光課長。

○堀江観光課長 渡辺委員からの御質問にお答えいたします。

三の丸水戸城跡周辺地区においては、今現在水戸城大手門を初め、水戸ならではの歴史観光まちづくりが進められております。

便益施設については、まずトイレ等を整備してまいります、先ほど御指摘があったように、観光客が足を伸ばして休めるようなところというのは大変重要かと思っておりますので、弘道館の周辺の歴史的景観に合

わせたベンチ等を設置してまいりたいと考えてございます。

また、梅まつりやイベント開催時には、観光客へのおもてなしと一体的な歴史景観に配慮して、ベンチに例えば野点傘とかあるいは緋毛せんなどを施して、おもてなしのホスピタリティを高め、誘客促進を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 その考えはあくまでも暫定的でしょ。私が言っているのは、その風格、品格にふさわしいものをつくるべきでしょということを言っているので、その計画をきちんと出してくださいという話です。例えば、平成31年度中に構想、計画をまとめるとか、本来ならそういうふうに年次的に考えていくべきですよ。ベンチを置きますからそれで対応できるんですじゃないんだよ。それはあくまでも暫定的な、臨時的な対応でしょ。その周辺の風格とか環境にふさわしいものを、計画を立てていくべきでしょということなの。民間なんてその後の話だよ、民間活用なんていう話は。まず、そういう景観ができてから、さっきも言ったようにスタートするんじゃないで、今のうちからきちんと、もう街路ももうすぐできちゃうよ、整備も。これから大型バスもどんどん入って来ますよ。そういうものを踏まえると、やはり足を伸ばしたり、そういうものをまた受け皿として、あの周辺には何回も言っているよね。東武館なんかあって、今外国人がよく来ていますよ、体験型で。だけど、飯食うところがないとかという声を皆さんきちんと精査してよ。だからみんな他の街に行かれちゃうんですよ。コースの中の通過点で見て、それで飯を食ったり、休むところは違うところというふうになっちゃうんだから、来た方にやっぱり経済的な効果を考えたら、そこでお金を使ってもらいたいということも大いに考えてもらいたいし、また先ほど水戸市は何で水府提灯をやっているのと言ったら、やはりそういうものをお土産として、日本三大提灯の一つなんですよという売のような場所も考えなくちゃならないでしょ。ただ単に弘道館を見てください、その周辺を見てくださいというだけじゃなくて、それによって何か生まれてこないとまずいわけです。そのための大事な計画を立ててほしいということをお話しているのです、その辺を踏まえて、平成31年度、きちんと構想はもうできているんですから、周りもどんどん進んでいるんですから、進んでいないのは計画だけなんです。それを頭に入れていただいて対応を願います。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの渡辺委員からの御要望を踏まえての質問の中で、執行部サイドも真摯に受けとめて、やはり目先じゃなくて、将来に向かって。今、ベンチも目前の話でもございますし、その辺も真摯に受けとめていただき、やっぱりこう思っております。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 では、なければ、以上をもちまして本日の産業水道委員会を散会といたします。

本日は大変御苦労さまでした。

午前11時 6分 散会